

培養ディッシュ検体用ハーベスター In situ culture Harvester

1. 概要

培養ディッシュ検体用ハーベスター「**HANABI P-1000**」は、ディッシュに装填された検体への試薬注入及び試薬吸引を自動的に実施する唯一の In situ 培養用細胞収穫装置です。

一度に処理できる検体数によって、2つのモデルがあり、それぞれ最大40検体用、最大65検体用となります。細胞収穫における処理速度向上、効率化、品質維持を徹底的に追求するよう設計されており、内蔵された5段の円盤の上に培養ディッシュを設置することで、それぞれの注入・吸引プローブにて試薬の循環が実施されるため、検体の並列動作が可能になり大幅な処理時間の削減を実現しています。

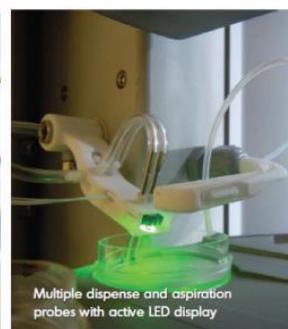
最大8つのプロトコルを設定することができ、操作方法の簡便なハンディー式のコントローラーにて操作することができます。

本装置を用いることで、ディッシュ検体に対する高品質な細胞収穫処理を自動的に実施することができます。



HANABI P-1000 In situ Harvester

培養ディッシュ用ハーベスター



ADSTEC

<http://www.ads-tec.co.jp>

E-mail: sales@ads-tec.co.jp

株式会社 エーディーエステック

〒273-0025 千葉県船橋市印内町568-1-1

Tel: 047-495-9070 Fax: 047-495-8809

2. 仕様

主な仕様は以下の通りです。

2017.05.17

#	項目	仕様	備考
1	ディッシュ	35mmペトリディッシュ	
2	処理検体数	40または65	
3	処理時間	45分 - 2時間	プロトコル設定による
4	注入用プローブ	5系統	
5	吸引用プローブ	5系統	
6	空気洗浄機ユニット寸法	φ110×240mm (D×H)	
7	動作環境	15-45°C, 5-95%RH	非結露
8	入力電圧	85 - 264VAC	ユニバーサル仕様
9	周波数	47 - 63Hz	ユニバーサル仕様
10	消費電力	約500W	
11	外形寸法 (65検体用モデル)	370×590×730mm (W×D×H)	
12	重量 (65検体用モデル)	約45Kg	

